

一般財団法人素形材センター会長賞

受賞者名

| | | |
|-------|------------|-------|
| 開発代表者 | 七宝金型工業株式会社 | 松岡寛高殿 |
| 共同開発者 | 七宝金型工業株式会社 | 鬼頭房臣殿 |
| | 七宝金型工業株式会社 | 堀裕生殿 |
| | 七宝金型工業株式会社 | 野場純一殿 |

開発技術名

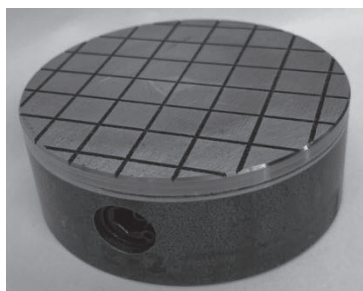
油圧制御と金属の弾性変形を活用した金型加工時の
水平出し高効率化治具の開発

開発技術の概要

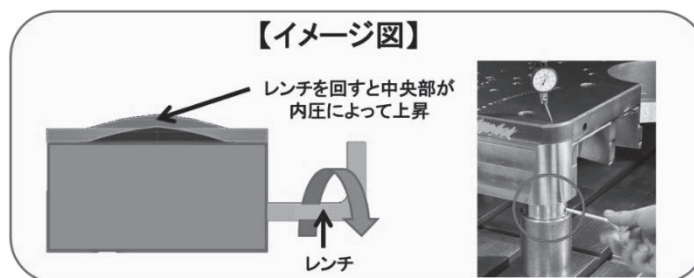
社内でワークの水平出し作業にはシム板調整作業とその際にクレーンの占有に多くの工数が取られて、作業には多くの負担を強いられていた。そこで、金型製作においてのリードタイム短縮や安全作業環境の確保のため、今回の治具開発・製作を始めた。

本治具を簡単に表現すると「精密調整可能な油圧ジャッキ」となる。1個あたりの耐荷重が3.5t、4個で使用すると4倍の14tもの重量物をレンチ1本だけで容易に0.01mm単位の調整が可能である。本治具を使用することで、同社では作業による工数のばらつきが無くなり、ベテラン作業員においても段取り工数が低減した。1回の段取り工数は90%低減、クレーンの待ちロスも50%低減して、生産効率の向上に成功した。商品化して2024年4月よりインターモールドにて販売開始している。

今後はユーザーのニーズに合わせてバリエーションを増やし量産化を実現して、海外も見据えて販売網の展開を考えている。



水平出し高効率化治具



ワークの水平出しのイメージ